

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当上半期決算における当社を取り巻く市場環境は、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大するなか、中国では経済活動の再開がいち早く進み、製造業の設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、総じて国内外で投資抑制が継続する厳しい状況が続きました。このような環境のもと、当社業績は、前年同期に対し売上高は10%を超える減収となり、営業利益、純利益ともに下回る結果となりました。

この上半期決算および現時点での市場分析に基づき、通期業績予想を発表しました。世界的な市況回復の遅れを主因に売上高は減収となりますが、営業利益は前年並みを目指します。

なお、中間配当につきましては、通期業績予想および財務状況等を総合的に勘案して、前年同期と同額の1株当たり40円とさせていただきます。

世界各国では、地球環境問題への対策等、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが加速しています。当社は、2023年度中期経営計画で重点課題に掲げたパワエレシステム事業およびパワー半導体事業の拡大に取り組み、産業・社会インフラの省エネや再生可能エネルギーの普及・拡大等の社会・環境課題の解決に貢献してまいります。

新型コロナウイルス感染症が再度拡大傾向にあり、寒さも厳しくなっております。株主の皆様におかれましては、お身体を大切にしてください。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

富士電機株式会社
代表取締役社長

北澤通宏



上半期決算

新型コロナウイルス感染症の影響および前年度大口案件影響を主因に減収減益

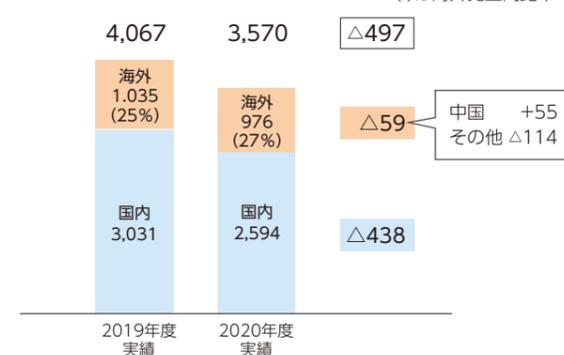
(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度 実績	増減
売上高	4,067	3,570	△497
営業利益	111	53	△58
純利益	60	21	△39

国内・海外売上高

(単位:億円)

()は海外売上高比率



売上高

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた企業活動の制約による納期延伸や設備投資抑制等の影響および前年同期の大口案件影響を受け、電子デバイス部門を除く4部門で需要が減少し、前年同期に比べ497億円減少の3,570億円となりました。

電子デバイス部門は、世界各国の環境規制を背景に拡大が見込まれる電動車(xEV)向けおよび新エネルギー市場向けのパワー半導体事業が国内外で大幅に伸長しました。

なお、海外では中国が市況回復を背景にパワー半導体事業およびパワエレシステム インダストリー部門のオートメーション事業を中心に増収となりました。

営業利益

原価低減および固定費削減等を推進したものの、食品流通部門を中心とした大幅な需要減少による売上高・生産高の減少を主因に、前年同期に比べ58億円減少の53億円となりました。

(単位:億円)

セグメント別	売上高			営業利益		
	2019年度 実績	2020年度 実績	増減	2019年度 実績	2020年度 実績	増減
パワエレシステム エネルギー	981	818	△163	36	16	△20
パワエレシステム インダストリー	1,387	1,282	△105	△7	2	9
電子デバイス	658	724	67	60	63	3
食品流通	547	377	△170	29	△26	△55
発電プラント	418	327	△92	8	11	3
その他	307	251	△57	12	8	△4
消去または全社	△232	△208	23	△27	△21	6
合計	4,067	3,570	△497	111	53	△58

2020年度 通期業績予想

売上高は減収も、営業利益は前年並みを旨す

(単位:億円)

	2019年度 実績	2020年度 予想	増減
売上高	9,006	8,700	△306
営業利益 (営業利益率)	425 (4.7%)	410 (4.7%)	△15
純利益	288	275	△13

売上高

前年同期に比べ306億円減少の8,700億円となる計画です。パワエレシステム インダストリー部門は、ITソリューション事業が大幅な増収となる計画です。

電子デバイス部門は、電動車(xEV)向けおよび新エネルギー市場向けパワー半導体事業が引き続き堅調に推移し増収となる計画です。

一方、発電プラント、パワエレシステム エネルギー部門は前年同期の大口案件影響を主因に減収となり、食品流通部門は下半期に自販機および店舗改装案件を中心に需要が増加するものの上半期の大幅減をカバーするには至らず減収となる計画です。

営業利益

ITソリューション事業およびパワー半導体事業等の物量増加による好転および固定費削減効果等はあるものの、売上高・生産高の減少を主因に、前年同期に比べ15億円減少の410億円を計画します。

(単位:億円)

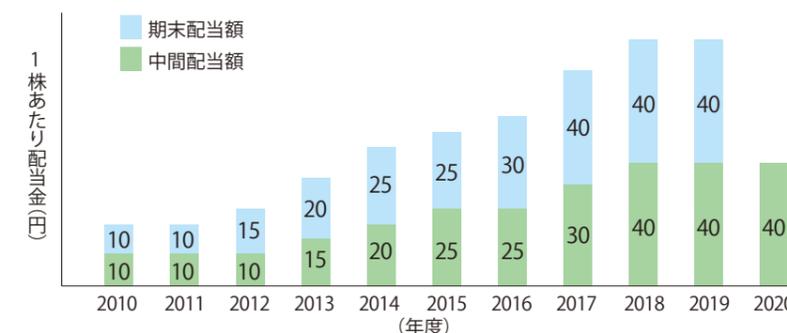
セグメント別	売上高			営業利益		
	2019年度 実績	2020年度 予想	増減	2019年度 実績	2020年度 予想	増減
パワエレシステム エネルギー	2,180	2,020	△160	123	96	△27
パワエレシステム インダストリー	3,175	3,360	185	165	185	20
電子デバイス	1,374	1,420	46	97	129	32
食品流通	1,044	940	△104	38	6	△32
発電プラント	1,099	870	△229	23	39	16
その他	608	530	△78	27	16	△11
消去または全社	△475	△440	35	△49	△61	△12
合計	9,006	8,700	△306	425	410	△15

中間配当

前年同期と同額の1株当たり40円としました。

通期業績予想および財務状況等を総合的に勘案し、前年同期と同額の1株当たり40円とさせていただきます。

なお、期末配当は、下半期の動向を見極め決定します。



※当社は2018年10月1日付けで普通株式5株を1株とする株式併合を実施しています。株式併合前の配当金に付きましても、遡って当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

「親会社株主に帰属する当期純損益」は、本報告書においては「純利益」と表記しております。本報告書の将来についての戦略等に関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、実際の結果とは実質的に異なる可能性があり、当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)
電話 03-5435-7111 <https://www.fujielectric.co.jp>

UD
FONT
ユニバーサルデザイン(UD)
の考えに基づいた見やすい
デザインの文字を採用して
います。

ミックス
責任ある内容提供
を
実現した紙
FSC
C017911

富士電機は、「豊かさへの貢献」「創造への挑戦」「自然との調和」を経営理念に掲げ、エネルギー・環境事業で持続可能な社会の実現に貢献していくことを経営方針の柱に据えています。

企業活動を通じて、お客様価値の創造に応え、社会・環境課題の解決、国際社会が目指すSDGs達成、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標です。2030年までに達成すべき17の目標を定めています。

経営理念の実践を通じたSDGs達成への貢献



ダム水位を計測し放流量を制御し、防災機能の強化に貢献



塩川ダム（山梨県）

近年、日本各地で記録的な大雨等による甚大な水災が頻発しており、ダムを活用した防災機能の強化が求められています。ダムには、大雨による河川の氾濫を防ぐため、貯水量を調整し適切な水量を下流域に流す役割があり、時間ごとに降雨量やダムの水位の変動を予測し、放流の時間と量を決めています。

富士電機は国内外150ヵ所以上にダム管理制御システムを提供してきました。

塩川ダム（山梨県）ではダム運用管理者が放流制御を行っており、納入した富士電機製システムは水位変動を計測する等、集中豪雨等の異常気象への対応や様々な現場作業をサポートし、安全な放流制御の実現に貢献しています。



ダム管理制御システム（イメージ）

たとえばこんな SDGs

13 気候変動に具体的な対策を

目標 13
気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる

富士電機は、1977年以来、国内外150ヵ所以上にダム管理制御システムを納入しています。豪雨による災害が頻発するなか、ダムの放流量を適切に制御することで、洪水被害を軽減し、地域住民の安全・安心な生活の実現に貢献します。

国内初「長いもの箱詰め作業の自動化」を実現



自動箱詰めライン（JA帯広かわにし）



長いものを掴む金属製のハンド

長いもの全国一の産地である北海道十勝地方の中心地、帯広市には、JA帯広かわにしが管理する長いもの選果場があります。長いものは大きいもので1本1.5キロを超え、1日の取扱量は12万本に上り、人手による長いもの箱詰め作業はかなりの重労働なうえ、作業者の高齢化や人手不足が課題となっていました。

富士電機はこの課題解決に、工業分野で培った技術が農業の自動化に活かせると考えました。

長いものは水分量が多く長さもあり折れやすいため、箱詰め時の衝撃を抑える必要がありました。そこで、最新の富士電機製サーボシステム「ALPHA 7」を採用し、長いものを掴んだ金属製のハンドをゆっくり開きながら長いものを滑らせるように箱に下ろす搬送動作を実現。箱詰め作業は国内で初めて自動化され、人手不足解消および作業速度の向上に貢献しました。

さらに、長いものトレーサビリティを実現する生産管理システムを構築し、生産者の特定、生産者毎の出荷高の把握や、どの生産ラインで洗浄・選別・梱包・箱詰め・出荷されたか選果の進捗や設備異常等の見える化を実現しました。

これにより選果場の出荷能力は従来比で3割増加しました。



サーボシステム「ALPHA 7」

たとえばこんな SDGs

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

目標 9
強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る

本施設は国の「産地パワーアップ事業」のモデル工場となり、その技術革新に注目が集まっています。富士電機は自社工場、設備の内製化・自動化を推進してきました。今回の成果は、これまで培ってきた技術の結晶です。

皆様のご応募ありがとうございました。

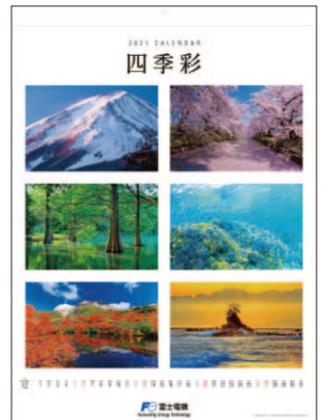
「富士電機レポート2020」「2021年版当社オリジナルカレンダー」に多数のご応募をいただき、厚く御礼申し上げます。ご請求いただいた株主様には、順次発送しております。

「富士電機レポート2020」オンライン版を開設しました。二次元バーコードもしくは当社HPからアクセスください。

▼当社HPからのアクセス
トップページ > 株主・投資家情報 > IR資料室 > 富士電機レポート/アニュアルレポート



富士電機レポート2020



当社オリジナルカレンダー（2021年版）